

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

08 July, 2009

IN THE HEADLINES



ブルガリア

ソフィア市長のボリソフ氏の率いる野党中道右派の「欧州発展のためのブルガリア市民(GERB)」党は、日曜日の総選挙を 39.8% の得票で勝利し、これに与党ブルガリア社会党(BSP)(17.9%)、「権利の自由のための運動(MRF)」(14.2%)と続いた。GERB 党は議会の単独過半数の議席には若干足りず、青の連合(同じく中道右派であり 6.7% の得票)との連立政権を形成すると見られている。新しい政府はカレンシーボード制を維持すると見られるものの、最近緩和された財政政策を引き締め、IMF の(予防的)プログラムを要請するかもしれない。しかし、急激な経済回復は見込めないだろう。



インド

5 月の再選挙に勝利した政府にとって、経済成長率を 9% に戻すことおよび地方の開発に重点がおかれていたためか、今週発表された初の予算の中では改革項目は後回しとされた。2009-10 年度の予算は推定で GDP の 0.5-1% の追加の財政刺激策を盛り込み、中央政府の赤字幅を GDP の 6.8% としている(2008-09 年度の赤字は GDP の 6.2%)。一般政府赤字は GDP の 10% 程度となるだろう。この赤字は 2011 年には GDP の 5.5% まで下げる目標としているが、経済成長が回復しても、9% の目標が早期に達成されることを見込むべきではない。2011 年の赤字目標も楽観的なものに見える。



メキシコ

野党制度革命党(PRI)が先週末の中間選挙で圧倒的な勝利を取め、与党国民行動党(PAN)の 28% と民主革命党(PRD)の 12% に対して 37% の票を得た。PRI は首長選においても 6 候補中の 5 候補で勝利した。この勝利は景気低迷と治安問題が悪化する中では想定内であり、いくつかの理由で重要性がある。それは、PRI にとって(緑の環境党(PV)と併せ)下院での議席を過半数にし、2012 年に大統領を輩出する(70 年間そうであったように)ための足場を強化することが出来、また、広く認知された同党の伝統的な強さを再認識させたからである。PRI がどの程度現政府のアジェンダを阻止することが出来るかについては今後の動き次第だが、景気後退の深さが政府との協力を余儀なくする可能性もある。



ウクライナ

実質 GDP は、第 4 四半期に 8% 下落したあと、第 1 四半期には前年比 20.3% 下落した。急激な下落は経済全般に亘るもので、製造業は 39% 下落し、小売は 10.8% の下落となった(第 4 四半期に 20% 増加した後のもの)。商品輸出は 39% 下落したが輸入は更に大幅に 48% 下落した。4 月の指標では工業生産と小売業の前年比の下落率は更に加速しており、経済は底打ちしたと言う期待に反するものである。2009 年に経済は 15% 超で縮小し、政府は IMF との合意事項である財政赤字幅の GDP 4% という水準を達成するのに苦勞するだろう。

ALSO IMPORTANT...



ラトビア

欧州委員会は先週、3 月から棚上げになっていた、12 億ユーロに上る EU 緊急融資の第 2 トランシェの融資実行を承認した。これは先月決定された、2009 年の財政赤字目標を 11% とするための予算削減と、赤字を 2012 年までに 3% まで引き下げる目標を後押しするものである。この貸出は資金問題および短期的な通貨切り下げリスクを緩和するが、全般的なカントリーリスクの水準は依然として高い。工業生産の下落のペースは加速し、5 月には前年比 19.3% となり(4 月は 17%)、経済がまだ底打ちしていないことを示唆している。実質 GDP は 2009 年には 15% 超で縮小することが見込まれよう。



ペルー

USD10 億ドルに上る債券発行(グローバル 2025 年債の追加起債)は今週前半に成功裏に行われた。資金の大半は、パリクラブ向けの債務の返済(主としてフランスとイタリア向け)に充てられ、短期的な債務返済額を減少させる。重要なのは、この発行は、健全な経済政策を実行し、対外収支が堅い国に対して市場は存在することを示したことである。しかし、政府は国内を説得するのに苦勞している。今週末、最近の先住民による暴動、3 日間におよぶストや抗議を受け、内閣の再編が行われる予定である。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



タイ

世界経済危機に影響を受け、2009 年には経済は 4% 縮小し、倒産件数は急激に増加するだろう。それでもマクロ経済の基礎条件は比較的強く、短期的な債務借り換えおよび対外流動性のリスクは抑えられている。ただし、迅速な経済の回復は、政治的不安定さと予測不能な状態によってブレーキがかかるかもしれない。暴動化した 4 月の反政府デモは、政治情勢が正常化するまでの道のりは遠いことを再認識させた。中期的な危険性としては、この継続した政策策定能力の弱体化が最終的には経済の基礎的条件をも蝕み、カントリーリスクを増大させてしまうことが挙げられよう。



トーゴ

来年の選挙が近づくにつれて政治的社会的な緊張が高まるとみられ、野党は、それが許可されるなら、現職のニヤンベ大統領(その父が 2005 年までの 38 年間統治していた)へ対抗するかもしれない。経済は地域貿易の再輸出に依存している。2007 年 10 月の議会選挙に続いて IMF の貧困削減成長(PRGF)プログラムの下、対外援助が再開された経常収支赤字は 2009 年には GDP の 5-6% まで縮小するとみられており、経済成長にとっては制約となり続け、その成長率は良くて 2% になるだろう。セーファーフラン圏の一部であるため、通貨交換リスクは殆どない。

IN BRIEF

クロアチア
ホンジュラス

サナデル首相は、はっきりとした理由も明かすことなく突如辞任した。
コスタリカのアリアス大統領が、ホンジュラス大統領の地位について争っている 2 者間の調停者となった。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.